住友化学の
気候変動対応への取り組み

2018年７月

住友化学株式会社
レスポンシブルケア部
河本光明

Japan. Committed to SDGs

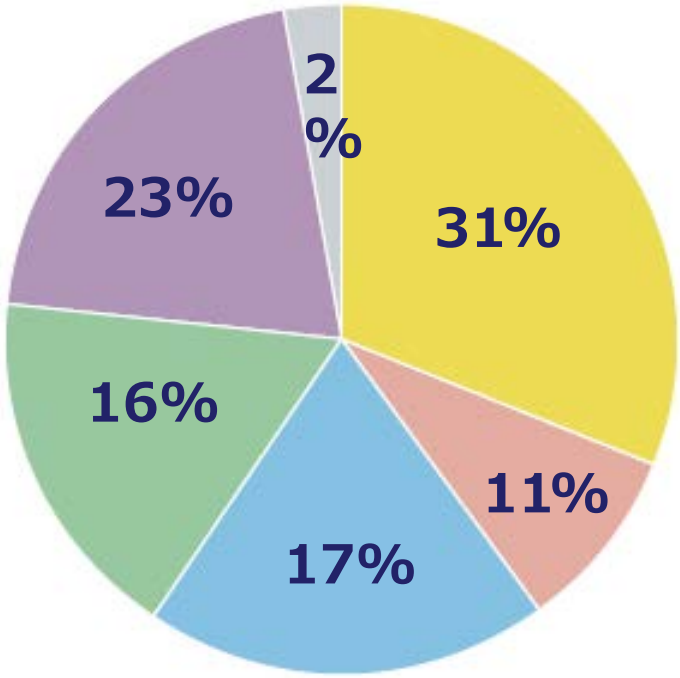
7 AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY

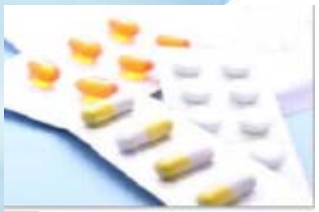
13 CLIMATE ACTION

住友化学グループの事業

住友化学

2017年度 連結売上収益
2兆1905億円





医薬品部門
人々の健やかで豊かな暮らしを、日々支えています。

石油化学部門
豊かな生活の実現に役立つ基礎原料や合成樹脂を提供し、人々の暮らしを支えています。

健康・農業関連事業部門
より豊かで持続的な食糧の安定供給、人々の健康、そして環境負荷の低減に貢献しています。

エネルギー・機能材料部門
地球規模の課題である環境・エネルギー問題の解決に、機能性材料で貢献しています。

情報電子化学部門
高度化するＩＴ社会に先端技術で応えています。

https://www.sumitomo-chem.co.jp/ir/library/annual_report/

住友化学の始まり

1913年、銅の製錬の際に生じる有害な排出ガスから有益な肥料を製造し、煙害問題の解決に取り組み、環境問題の克服と農産物の増産をともに図ることから誕生しました。

愛媛・新居浜／当時の銅製錬所の遠景
（住友史料館 提供）

住友肥料製造所（住友化学の前身）
初出荷の様子

住友化学の始まり

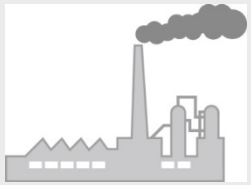
1915年

技術　知恵　情熱　使命感

住友肥料製造所 営業開始

投入

亜硫酸ガス
（排出ガス）



環境問題

産出

過燐酸石灰
（肥料）

農産物増産

Creating Shared Value（共通価値の創造）

基本的考え方

住友化学

拡大成長

以下の3分野と
それらの境界領域に経営資源を集中

- 環境・エネルギー
- ライフサイエンス
- ICT

ROI向上

- 利益率向上
- 資産回転率改善

ESGへの取り組みの継続

環境
事業を通じて社会の
持続可能な発展に貢献

社会
ステークホルダーとの
良好な関係を構築

ガバナンス
ガバナンスの
実効性を向上

気候変動対応

持続的な企業価値創造の実現へ

異常気象が大きなグローバルリスクと認識されている

ダボス会議2018報告より

発生の可能性が高いグローバルリスクのトップ５

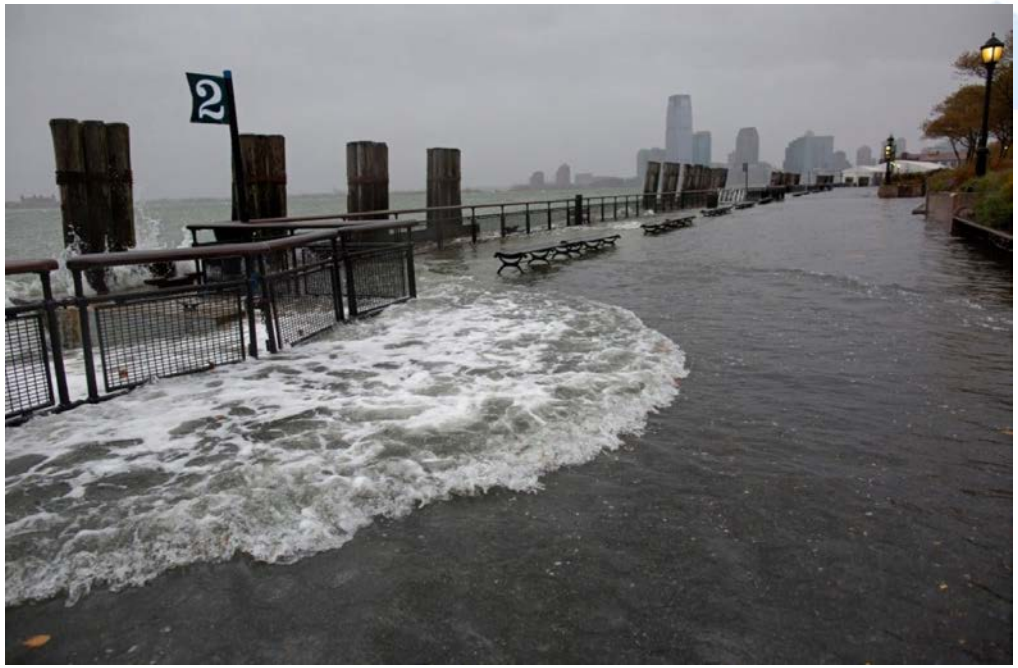
	2017	2018
1位	異常気象	異常気象
2位	大規模な 非自発的移民	自然災害
3位	大規模な 自然災害	サイバー攻撃
4位	大規模な テロ攻撃	データ詐欺 データ盗難
5位	大規模な データ詐欺・データ盗難	気候変動緩和・ 適応への失敗

- 経済
- 環境
- 地政学
- 社会
- テクノロジー

（参考）グローバルリスク報告書2018 https://sustainablejapan.jp/2018/01/19/global-risks-report-2018/30170

異常気象が企業に様々なリスクをもたらしはじめた

NY市が「気候変動対策にかかる市の費用を肩代わりせよ」と石油大手5社を提訴



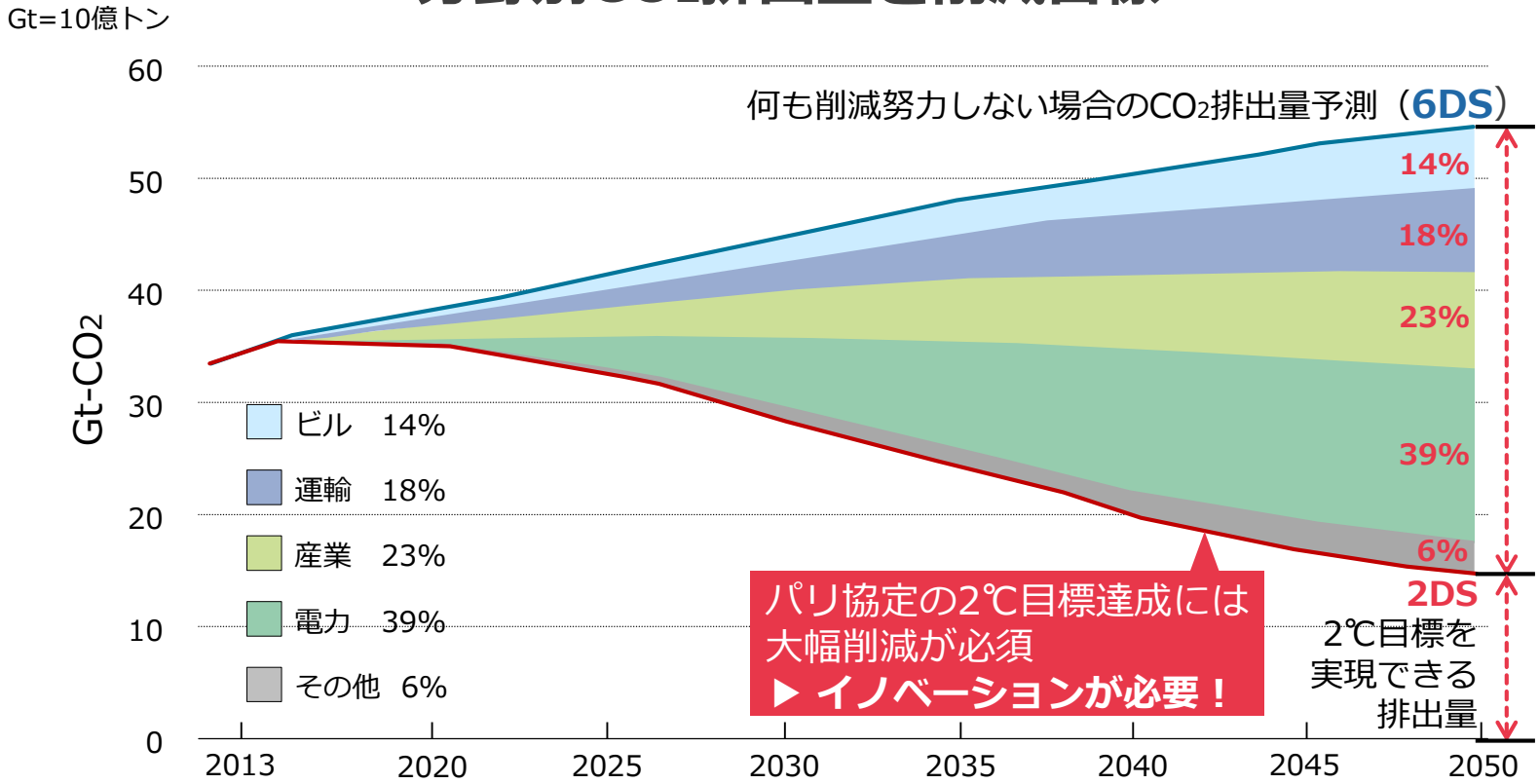
Waves wash over the sea wall at Battery Park in New York in 2012 as Hurricane Sandy approaches the East Coast. (Craig Ruttle/AP)

（出所） https://www.washingtonpost.com (January, 10)

The New York City government is suing the world's five largest publicly traded oil companies, seeking to hold them responsible for present and future damage to the city from climate change.

2℃目標の達成にはCO2大幅削減が必要不可欠

IEA※の2050年にむけたCO_2排出削減シナリオ (IEA-ETP2015)
分野別CO_2排出量と削減目標



（出所）IEAの2℃目標達成シナリオ長期モデルを基に作成

※IEA:国際エネルギー機関

当社はTCFD提言への支持を表明

金融安定理事会が設置したTCFD提言のポイント

□ 企業の気候変動関連のリスクと機会に関する情報開示をさらに進めるべき

□ この際、気候変動対応に関する**ガバナンス、2℃目標への中長期的対応戦略、リスクマネージメント等に関する情報**を広く開示すべき

"Climate change is one of the most important challenges that our society is facing. Sumitomo Chemical as a global company is committed to actively provide solutions for climate change mitigation and adaptation. We believe the better disclosure of information on climate-related risks and opportunities will further encourage our initiatives towards a sustainable world."

Masakazu Tokura, Chief Executive Officer, Sumitomo Chemical Company, Limited

TCFD | TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

TCFDのWebサイト（https://www.fsb-tcfd.org/）より

※2017年6月29日公表

当面の対応：TCFD準拠となったCDP評価に対応
（CDPの説明資料より）

気候変動管理	1. ガバナンス
	2. 戦略
	3. 排出削減目標・活動
	4. コミュニケーション
リスクと機会	5. 気候変動リスク
	6. 気候変動機会
排出量	7. 排出量算定方法
	8. 排出量データ
	9. スコープ1排出量内訳
	10. スコープ2排出量内訳
	11. エネルギー
	12. 排出実績
	13. 排出量取引
	14. スコープ3排出量

2017年までの質問書

CC1. ガバナンス	理事会の責任(TCFD)・気候変動課題達成へのインセンティブの有無
CC2. リスクと機会の管理	短中長期の事業展望(TCFD)・気候変動関連リスクと機会のうち事業に重大なものを決めるプロセス(TCFD)・気候変動関連リスクの決定・管理プロセスの類型・詳細(TCFD)・リスクの開示(TCFD)・機会の開示(TCFD)・リスク管理(TCFD)
CC3.戦略と**シナリオ分析**	戦略（シナリオ分析も）(TCFD)
CC4. 目標と削減実績	目標(TCFD)・排出増減実績・排出削減イニシアチブ
CC5. 指標	排出量算定方法・エネルギー消費・排出算定バウンダリ(スコープ1, 2)・スコープ1, 2排出量(TCFD)・スコープ3排出量(TCFD)・検証・生物学的に分離された二酸化炭素・排出原単位・スコープ1排出の詳細・スコープ2排出の詳細・その他気候変動に関する定量的値
CC6. カーボンプライシング	内部的カーボンプライシングの有無・カーボンプライシングの詳細・規制的カーボンプライシングの有無と対応
CC7. エンゲージメント	バリューチェーンのエンゲージメント・政策エンゲージメントやロビー活動・広報

2018年以降の質問書案

リスク削減：SBT(企業版2℃目標設定）に対応

SBT(Science Based Targets)とは、産業革命時期比の気温上昇を「2℃未満」に維持するために、企業が気候科学の知見（IPCC）と整合した削減目標を設定するためのスタンダード

SCIENCE BASED TARGETS
DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

CDP ：気候変動分野の国際NGO
UN ：国連グローバル・コンパクト
WWF ：世界の自然環境の保護を推進するNGO
WRI ：持続可能な天然資源管理・環境問題を研究するNGO
による共同のイニシアティブ

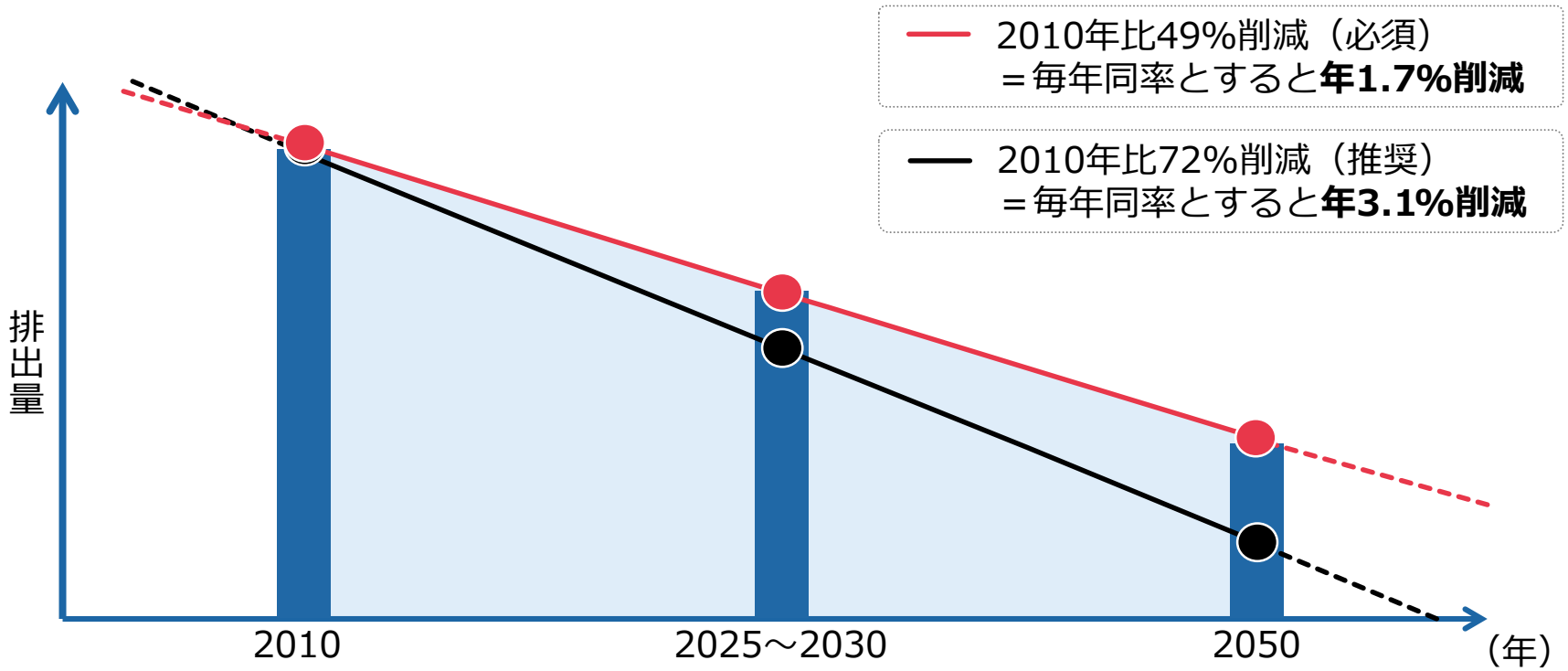
世界で430社の企業がSBTの設定を宣言（2018年7月13日現在）

□ SBT設定を宣言した日本企業：61社
トヨタ、日産、ホンダ、NEC、日立、ダイキン、花王、住友林業、武田薬品、積水化学、**住友化学** 等

□ そのうち目標がSBTであると認定を受けた企業：20社
ソニー、パナソニック、富士通、富士フィルム、積水ハウス、リコー、コマツ、第一三共、LIXIL 等

SBTのイメージ(SCOPE1+2)

2050年に49～72%削減を目安として、
2025～30年頃の目標を設定するもの。



（参考）環境省・みずほ総研資料より作成

S 事業を通じて（Solutions）

Sumika Sustainable Solutions (SSS)
スミカ・サステナブル・ソリューション

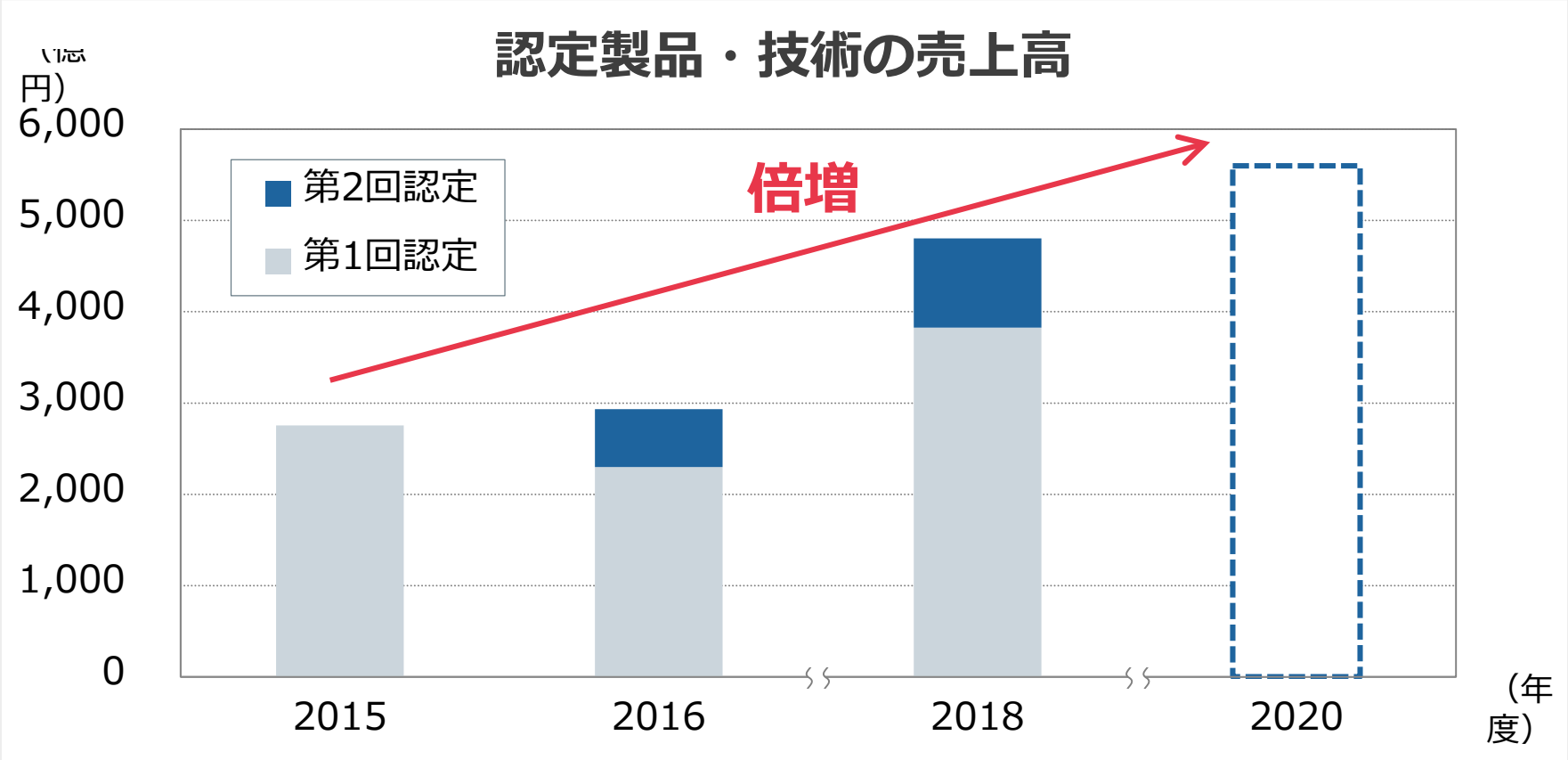
住友化学グループは2016年度より、温暖化対策、環境負荷低減などに貢献する製品・技術を“Sumika Sustainable Solutions” として認定することとしました。

それらの開発・普及を促進することにより、持続可能な社会を構築するためのソリューションを提供し、SDGsの達成に貢献したいと考えています。

ソリューション	特徴	SDGs への貢献
リチウムイオン二次電池用セパレータ「ペルヴィオ®」	リチウムイオン二次電池の高容量設計を可能とする材料で、次世代自動車（電気自動車等）の普及に貢献	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに / 13 気候変動に具体的な対策を
ポリエーテルサルホン「スミカエクセル®」	航空機向けの炭素繊維強化プラスチックに配合され、機体の軽量化による燃費向上に貢献	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに / 13 気候変動に具体的な対策を
詰め替え用包装向けポリエチレン「スミカセン®EP」「エクセレン®GMH」	注ぎ口を手で簡単に切れる特性を持ち、洗剤などの詰め替え用パウチ包装に使用されるポリエチレン。ボトル容器に比べ、ごみの量を低減	12 つくる責任 つかう責任 / 13 気候変動に具体的な対策を
飼料添加物メチオニン「スミメット®」	鶏飼料へのメチオニン添加により、飼料中のアミノ酸含有量のバランスを改善。排泄物中の窒素量を減らし、温室効果ガスの排出を削減	12 つくる責任 つかう責任 / 13 気候変動に具体的な対策を

S 事業を通じて（Solutions）

売上規模を早期に倍増



今後の課題：シナリオ分析(or シナリオプラニング?）の充実

1 **Ensure governance is in place:** Integrate scenario analysis into strategic planning and/or enterprise risk management processes. Assign oversight to relevant board committees/sub-committees. Identify which internal (and external) stakeholders to involve and how.

（TCFD資料より）

2 重要リスク洗い出し

Assess materiality of climate-related risks

- Market and Technology Shifts
- Reputation
- Policy and Legal
- Physical Risks

What are the current and anticipated organizational exposures to climate-related risks and opportunities? Do these have the potential to be material in the future?

3 対象範囲の明確化

Identify and define range of scenarios

Scenarios inclusive of a range of transition and physical risks relevant to the organization

What scenarios (and narratives) are appropriate, given the exposures? Consider input parameters, assumptions, and analytical choices. What reference scenario(s) should be used?

4 事業への影響評価

Evaluate business impacts

Impact on:

- Input costs
- Operating costs
- Revenues
- Supply chain
- Business interruption
- Timing

Evaluate the potential effects on the organization's strategic and financial position under each of the defined scenarios. Identify key sensitivities.

5 要対応項目明確化

Identify potential responses

Responses might include

- Changes to business model
- Changes to portfolio mix
- Investments in capabilities and technologies

Use the results to identify applicable, realistic decisions to manage the identified risks and opportunities. What adjustments to strategic/financial plans would be needed?

ESG検討体制：サステナビリティ推進委員会

取締役会

報告／指示

サステナビリティ推進委員会

委員長　代表取締役社長 十倉雅和

副委員長　専務執行役員　新沼宏

委員 各部門統括役員

- 石油化学部門
- エネルギー・機能材料部門
- 情報電子化学部門
- 健康・農業関連事業部門
- 本社部門

事務局

CSR推進部
コーポレートコミュニケーション部
法務部
人事部
経営管理部
技術・研究企画部
レスポンシブルケア部

報告／提言

SOLUTION

事業を通じた
社会の持続的成長への貢献

各事業部門
各グループ会社

報告／提言

INITIATIVE

国際的な取り組みへの参画

レスポンシブル・ケア委員会
コンプライアンス委員会
人事部など 事務局構成部署

報告／提言

ENGAGEMENT

ステークホルダーとの対話

コーポレートコミュニケーション部
ＣＳＲ推進部　法務部
レスポンシブル・ケア部

ご清聴ありがとうございました

THE GLOBAL GOALS
For Sustainable Development